第11回広島県要約筆記関係者研究大会

東広島大会

誰も損をしない福祉の構造

<福祉と企業の共存>

料亭久里川　森　浩昭

www.kurikawa.com/bokuranoatorie.html

福祉で経費節減

- 「環境」の名刺　vs　「福祉」の名刺
- 企業の利益と福祉

NHK広島放送局「お好みワイドひろしま」

・特集「民間の知恵で障害者自立支援」

・特集「変わる福祉作業所」

障害者作業所

- 障害者作業所とは障害のある成人の人たちに就労と労働を通じた心身機能の発達の場を保障する為に、当事者やその関係者たちの活動によって創出された場所。
- 養護学校を卒業しても企業の就職が困難であったり、一般企業で働くことがすぐには難しい障害のある人たちの活動の場。
- 不景気により就職率が低迷し、障害者に対して作業所が不足しているのが現状。広島市に約60ヶ所、広島県に約120ヶ所。

平成18年4月　障害者自立支援法　施行

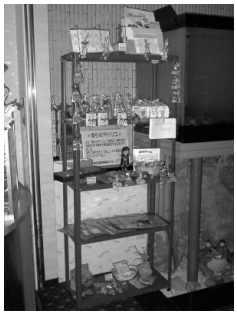
●就労継続(移行)支援　●地域活動支援センター　等

就労支援を抜本的に強化

「僕らのアトリエ」とは

- **広島市内の障害者作業所で作られる製作品を一般企業の店頭で販売する福祉活動。**
- **1993年11月に広島で初めて料亭久里川の提唱で始まり、当時広島市内を中心に17店舗で製作品が販売され、売上は全額が施設に還元され、心身障害者の自立資金の一部に当てられている。**
- **1996年の「おりづる大会ひろしま」で作業所製作品を広島市が記念品として購入（約1千万円）。**

僕らのアトリエ（料亭久里川）



僕らのアトリエ誕生

- 中小企業では困難な社会福祉
- 障害者の製作品に対する想い

作業所での自主製品の問題点

1、資金不足

新製品を作っても販売ルートが確立していない為、材料にお金をかけることが出来ない。バザーで売れ残る。

2、アイデア、技術力不足

作業所間で製品を真似る。自主製品の開発が難しく、企業の下請け作業が主流。納期が早い仕事は請けられない。

3、ネットワーク不足

仕事が見つからない。企業も作業所で何が出来るのかわからない。

良い製品とは？

- 作業所の製品　vs　企業の製品
- 廃油せっけん

廃油せっけん

作業所の役割
（作業所と企業の**ものづくり**の発想の違い）

作業所の仕事はリハビリですか？

作業所と障害者ディサービス

企業・・・・・**世の中では何が売れるのか？**
どのようにすれば製品が売れるのか？

顧客満足・・・・・**お客様を喜ばせたい**

⇕

作業所・・・**どのような製品が作れるのか？**

障害者理解・・・**障害者を世の中に認めてもらいたい**

企業との連携

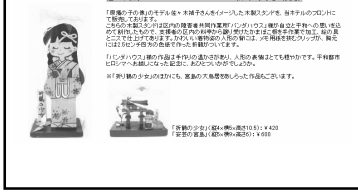
	0	50	100
作業所主導型×	企業	作業所	
企業主導型×	企業		作業所
共生型○	企業 ⇔		作業所

企業との妥協点を見つける

- ホテルサンルート広島との共同開発商品

2003/8/6
中国新聞朝刊 ⇨

ホテルサンルート広島ホームページ



福祉にアタック（広島経済レポート　1月29日号より）

悲願のVリーグ制覇に向けて熱戦を繰り広げているJTバレーボール部だが、このほど障害を持った人を支援する取り組みを始めることになった。

木製品加工や販売を行う在宅精神障害者の共同作業所である「パンダハウス」とタイアップ。JT選手がモデルとなった人形などの作製を依頼し、チームのプレゼント用品に採用する計画だ。パンダハウスでは現在、メモスタンドやマグネット付き木製クリップといった試作に取り掛かっているという。

「順調に進めば3月28日のファン感謝デーに間に合うでしょう。将来的には試合会場でも販売できると良いですね。売上げ金が自立支援の一助になればと思います」（JTバレーボール部事務局）

また、1月31日のVリーグ広島大会に作業所で働く人たちを招待し、観戦席を提供する。今後も福祉交流を深めていく方針だ。

中国経済新聞
2004年（平成16年）3月24日（水曜日）　広島国域（28）
JT選手そっくりフィギュア
中区の障害者共同作業所「パンダハウス」（厳
JTの選手の表情などを描き込んだオリジナルグッズ

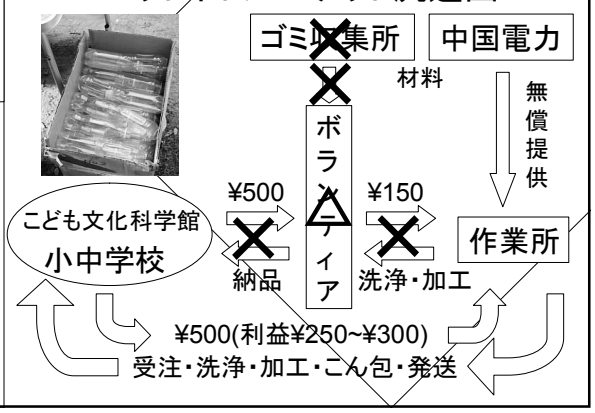
JTサンダース
ファン感謝デー

JTが選手フィギュア
(¥420)を400体注文

環境と福祉の融合

- 結婚式の名札立て（ホテルセンチュリー21）
- ホテルでの製品販売（広島プリンスホテル）
- 事務所閉鎖後の備品処理（ひろしまNPOセンター）
- 閉鎖施設の廃棄物（解体業者→建設会社社長）
  - ○島根県のフィットネスクラブ→ロッカー100台
  - ○山口県のパチンコ店→パチンコ玉容器1200個
- ペットボトルロケット（こども文化科学館）

ペットボトルロケット流通図



廃棄物を利用した作業所製作品

かまぼこ板
木工製品
弁当箱のふた
フラワーポット
ペットボトル
ロケット

廃棄物の利用

マキタ
エンタープライズ
(工務店)様
との連携

従来の作業所製品
（千代紙使用）

襖紙見本帳

障子紙

国外販路

●はぐくみの里

●作業所わくわく

染色技術

●いつかいちむぎの家

「福祉施設・小規模作業所等と企業との共存」研修会

2003年9月24日開催　　主催　広島県社会福祉協議会
広島県授産事業振興センター

1部　講演
「福祉施設・小規模作業所等と企業との共存」
＜今後の生き残りをかけての戦略は＞　森　浩昭

2部　事例発表
1、菓子部門　「ひとは作業所」
助言者　お菓子づくり道場　創喜房　山岡　至氏
（元広島県食品工業技術センター職員）
2、木工部門　「広島どんぐり作業所」
助言者　広島県東部工業技術センター　産業デザイン部長　平田　勉氏
3、さをり部門「おおぞら作業所」
助言者　NPO法人　さをりひろばネットワークセンター広島　鼻野敦子氏

胡麻せんべい

プロに学ぶ

まなび共働作業所　「カメヤマローソク」様との連携

●ローソクよりも容器を工夫
●色合いがはっきりしている
●広島市ボランティア人材バンクから講師を派遣

18年度「フラワーフェスティバル」
「祈りのオブジェ」10万円で受注

中国新聞地域ニュース

集うオンリーワン　若い力支える　'06/5/4

▽安佐南の作業所　平和・愛…祈りのオブジェ

三日間幕したひろしまフラワーフェスティバル（FF）。節目の三十回を迎えた祭りは、初日から新しい動きに湧いた。障害のある人たちがパレードし、夜のキャンドルイベントにも参加。市民ボランティアがそれを支えた。きらり光ったのは、若者の感性。広島市内の大学生がリサイクル製品で作った陶器を奏で、花のオブジェも出現した。どの場面、どの瞬間にも笑顔が咲いた。

平和、愛、福祉―。三つの思いを込めたキャンドルリングが薄闇に浮かび上がった。身体・知的「障害者が通う」小規模作業所「まなび共働作業所」（広島市安佐南区）は手づくりした光のオブジェを広島市中区にある原爆資料館西館の軒下に置き、新機軸のナイトフェスタで輝いた。

庭園形式のオブジェは縦横二・七メートル。竹で型枠を組み、ビオラやスズランを植えた。正面のリングは直径一・八メートルで「平和」を表現。キャンドルを入れた竹筒を竹の輪に結び付けた。左右のリングは、同作業所が重んじる「愛」や「福祉」の考えを表す。

材料の多くはリサイクル。大小三百本のキャンドルは市内の結婚式場からもらった。「大勢の人に支えられた作品です」と指導員の山本悦子さん。一級建築士がボランティアで設計し、十四人の通所者は保護者やスタッフの協力で三月から制作に取り組んだ。

午後七時すぎに点灯。周囲から拍手がわき、優しい光にため息が漏れた。FF最終日の五日まで毎夕ともす。（下久保聖司）

朝日　2006年（平成18年）8月29日（火曜日）　アイ・ひろしま

FFキャンドル 防災に活用

安佐南の作業所 50本を再加工・販売

ひろしまフラワーフェスティバル（FF）。今、九月一日の防災の日にある「ふれ愛プラザ」が防災用に再加工している。通所者十四人と、ひろしまフラワーフェスティバル（FF）のフラワーキャンドルを防災用ろうそくとしてよみがえらせた。

「一人一人の苦労の結晶です」と話すのは、まなび共働作業所の福島義隆所長（71）＝安佐北区。通所者14人と、ひろしまフラワーフェスティバル（FF）のフラワーキャンドルを防災用ろうそくとしてよみがえらせた。

廃棄物からリサイクルを重んじ、防災ろうそく障害者と加工

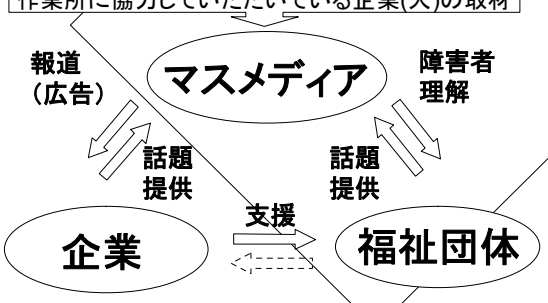
普段の作業も牛乳パックの再加工などが中心。FF実行委の協力で再生した燃えかすの灰も「私たちの理念の表れ」と強調する。

中区の紙屋町地下街シャレオの「ふれ愛プラザ」で販売中。「皆さんの協力が障害者を支える社会づくりにつながる」（江川裕介）

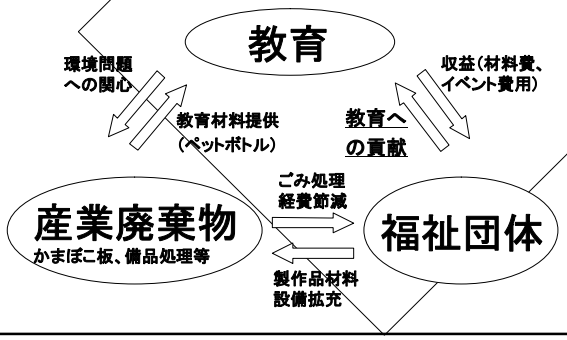
企業ボランティアと福祉

- 作業所ホームページ作成ボランティア
  （技術ボランティア）
- ハンドベル指導
  （広島市ボランティア人材バンク）
- 作業所での木工指導
  （趣味の活用）

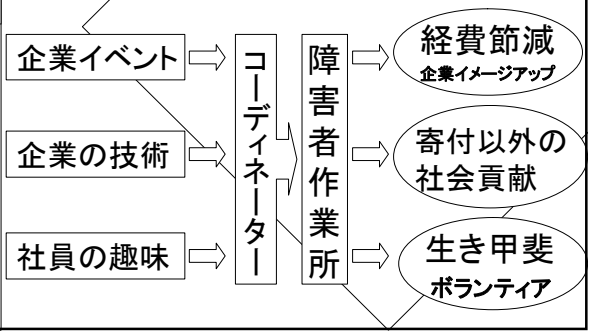
誰も損をしない福祉の構造 情報編



誰も損をしない福祉の構造 環境教育編



誰も損をしない福祉の構造 実践編



まとめ

1、資金不足

廃棄物を原料にすることにより初期投資を気にしないものづくりを考える。バザーをオーダーメイドに切り替えることで売れ残りの無駄をなくし、お互いが納得する製品を作る。

2、アイデア、技術力不足

企業の現状を考え、相手の立場に立ち、企業にも利益になる相互協力を求める。金銭的な支援が難しい企業には、物や技術といった物理的な支援をお願いする。

3、ネットワーク不足

企業が福祉に参画することにメリットを持たせ、企業間のネットワークやマスコミを利用することにより、情報収集や仕事の斡旋を行う。

広島大学特定課題プロジェクト(平成14年後期)
広島大学地域貢献研究　作業所支援システム研究チーム

障害者作業所の新たな社会的役割の創出に関する研究

～障害があるから見えてくるものの価値の社会化～

●総合科学部　助教授　石倉康次　●医学部保健学科　教授　八田達夫
●大学院教育学研究科　講師　巌淵守　●大学情報サービス室　助教授　橋本康男
●障害者と家族のくらしと権利をまもる広島連絡会　代表　久保正道
●(有)快的空間　代表取締役　藤井壮太郎　●僕らのアトリエ　代表　森浩昭
http://www.kurikawa.com/hirodaironbun.pdf

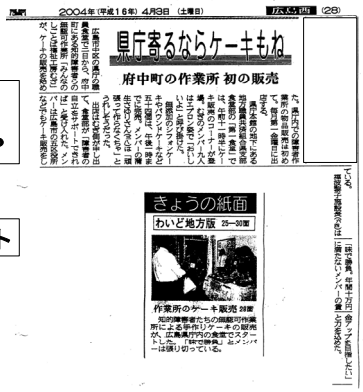
県立広島大学重点研究事業に係る地域課題解決研究
(平成17年度)

●経営情報学部　教授　姜判圭　●経営情報学部　助教授　平野実
●県立広島大学　企画員　八百野　●僕らのアトリエ　代表　森浩昭
http://www.kurikawa.com/kenritudai-kenkyu.pdf

行政の言う

「平等」とは？

食堂のメリット



2004年（平成16年）4月3日（土曜日）　中国新聞　(28)

県庁寄るならケーキもね

府中町の作業所 初の販売

広島県庁の食堂で、府中町の作業所の知的障害者たちが作ったケーキの販売が始まった。「県庁寄るならケーキもね」と、自立をサポートする狙いだ。「みんなに喜ばれて、やりがいの向上につながる」と期待を込める。

県内で初めて、食堂内の「障害者の自立をサポートする会」が、県庁内の食堂でスタートした。「県庁で勝負」と、メンバーは張り切っている。

県庁内の食堂で、知的障害者の作業所が初めて販売を始めた。

県庁内の食堂で、知的障害者の作業所が初めて販売を始めた。

きょうの紙面

わいど地方版　25～30面

作業所のケーキ販売　28面

知的障害者たちの共同作業所による手作りケーキの販売が、広島県庁内の食堂でスタートした。「県庁で勝負」とメンバーは張り切っている。

中国新聞地域ニュース

作業所手作りのしおり　広島県立図書館で配布

'04/11/16

広島県立図書館（広島市中区千田町）は、精神障害者の共同作業所「カープクラブ」（中区江波二本松）が作ったしおり＝写真＝を、図書館のある県情報プラザで二十日開く「読書の輪を広げる集い」で配る。二十一日から、本を借りた市民先着百人にも贈る。

しおりは縦十一センチ、横四センチ。子どもに本の読み聞かせをしている母親の姿をステンシル（型染め）で刷り込み、「読書は新しい発見の旅」という標語を添えている。

公共図書館などでつくる県読書推進運動協議会が、読書啓発用に注文。同作業所がステンシルでレターセットの彩色をしている腕前を生かし、約一カ月がかりで約六百枚を仕上げた。

作業所職員の高杉みどりさん（52）＝西区井口明神＝は「一枚ずつ色付けし、絵の味わいが微妙に違う。読書の途中に目を留め、ほっとしてもらえたら」と願っている。

集いは午後一時から。

広島県

障害者の経済的自立支援に関する検討会

（広島県福祉保健部長主宰）

広島県身体障害者施設、広島県精神障害者社会復帰施設
広島大学、病院関係者、障害者民間ボランティア
広島県（市）就労振興（支援）センター、広島市社会局障害福祉課
広島県福祉保健部福祉総室知的（身体）障害者福祉室

広島市

- **企業ニーズの把握**
- **企業の技術を学ぶ講演会開催**
- **企業と作業所との更なる連携強化による販路拡大**
- **広島市授産事業振興センターの活性化**
- **広島県「障害者の経済的自立支援に関する検討会」参加協力**

⇩　⇩

「福祉を語る会」発足

福祉を語る会

福祉の異業種交流会

第1回（2004／ 7/26）49名参加
第2回（2004／10/13）48名参加
第3回（2005／ 2／ 3）69名参加
第4回（2005／ 6/13）68名参加
第5回（2006／ 6／ 7）88名参加
第6回（2007／ 2／ 5）70名参加

メーリングリスト会員
約300名登録

福祉を語る会参加者

広島市役所（障害福祉課、環境政策課、自治労労働組合）、市（県）議会議員
広島県庁（福祉保健部、商工労働部、議会事務局、地域振興部）、広島県社協
広島市（県）就労支援（振興）センター、広島市心身障害者福祉センター、NPO
障害者作業所所長、障害者団体代表、メンバー、保護者、養護学校校長
広島地域障害者雇用支援センター、高齢者施設関係者、広島中央郵便局
企業（観光業、介護関係、NTT、マツダ、保険会社）、病院関係者、広島大学
広島情報シンフォニー、消費生活アドバイザー、ヴァイオリニスト、プロレスラー
等々

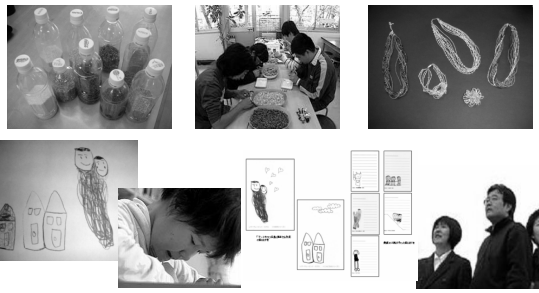
●情報収集
人脈の活用

●これからの
行政、社協の役割

福祉を知らない人
福祉に直接関係の無い人

福祉の専門家

広島県庁　環境生活部人権施策室　人権啓発番組
（広島テレビ）平成18年3月11日放送
●自分らしく生きるために～みんながつながって～



www.kurikawa.com/HTV-kentyoutokuban.wmv

広島県障害者経済的自立支援モデル事業

目的　新たな事業展開の可能性を検討

障害者授産施設等を利用する障害者の収入の増加を図り自立を促進する為、新たな製品開発および販路拡大など、経済基盤の強化に向けた取組を行う授産施設等に対して支援を行うことを目的としている。

内容　第三者の目で業務を見直す

●経営改善に取組む意欲のある施設をモデル施設として選定し、現状の経営分析を行うとともに、新たな製品開発や販路拡大など経営基盤の充実・強化に向けた取組を行う。

●専門家や施設関係者を含めた経営検討会議を設置して、分析や検討を行うとともに、経営改善指導員を派遣して、現地において助言等を行う。

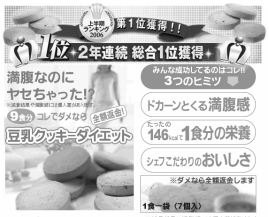
期間　平成20年3月末までを予定（2年間2箇所）

http://www.kurikawa.com/ken-model.pdf

（社福）希望の丘　広島どんぐり作業所　せんべい販売支援
知的障害者就労支援施設（広島市安佐南区大塚西）

経営検討会議
●広島県福祉保健部社会福祉局
●（社）広島県就労振興センター

瓦せんべいの販売不振
↓
元広島県食品工業技術センター
山岡先生の技術指導
↓
「ダイエットせんべい」開発開始



「おから」の特徴
●無料で手に入る
●ヘルシーな食材
↓
作業所に適した材料

今後の福祉のあり方

誰もが損をしない（得をする）

「おたがいさま」をキーワードにした

「福祉」という言葉を使わない

「福祉」の構築